

---

# 高校探究科

## No. 04 (K3)

---

年		組		番		名前	
---	--	---	--	---	--	----	--

## 0. 卒業論文の流れ

### 1. 課題

- ・高校 3 年間の探究科の授業で身に着けた知識・学びのスキルをもとに卒業論文を書こう
- ・国際社会・日本社会の問題について SDGS を意識しながら自分でテーマを設定する

### 2. 卒業論文の説明

- ・論文とは自分の問いに対して、客観的な根拠をもとに答えを導き、自分の意見を書くものです。
- ・論文の制作は高校 3 年生の探究科の時間を 1 年間使って行います。
- ・目標とする量は Word A4 2 枚以上 (2880 字) です。図や表も使ってください。

### 3. 卒業論文の手順

高 2 3 学期後半	・テーマ (問い) の検討・決定
↓	↓
高 3 1 学期前半	・テーマについてレジュメ作成・発表
↓	↓
高 3 1 学期後半	・論文 1 次原稿制作・完成 ←今ここ
↓	↓ ※指導教員による論文チェック・指導
高 3 2 学期前半	・論文最終原稿制作・完成
↓	↓ ※指導教員による論文チェック・指導
高 3 2 学期後半	・論文内容についてポスター制作・最終発表会実施
↓	↓
高 3 3 学期	・論文相互評価・論文集印刷

仮説：牛乳を飲むと背は伸びるのか？

### 4. 論文の基本的な構成

テーマ	疑問や仮説をあげる	仮説：牛乳を飲むと背は伸びるのか？
はじめに	この疑問や仮説を選んだ理由を述べる	私がこのテーマを選んだ理由は、牛乳を飲んでいる人でも背が伸びていないケースがあると感じるからである。牛乳を飲むと一般的には背が伸びるのかについて、調べ検証したい
調査	疑問の答えにつながる客観的事実を調べる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般に牛乳を飲むと背が伸びると言われるのはなぜか？</li> <li>・この仮説・疑問について先に調べた人は何と言っているのか？</li> <li>・背が伸びるためには何が必要か</li> <li>・背が伸びるため必要な栄養・物質は何か</li> <li>・牛乳の成分に背が伸びるのに有効な成分はあるか？</li> </ul>
考察	調査した内容から言えること・分析を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここまでの調査から背を伸ばすには・・・が有効とわかった</li> <li>・牛乳には・・・が含まれ、背を伸ばす効果があることも分かる。</li> </ul>
結論	疑問の答えを書く	<p><b>結論：牛乳を飲むと背は伸びる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理由は 2 点ある。1 点目は背が伸びるためには・・・が有効であるからである。・・・(説明)・・・。2 点目は牛乳の中には背が伸びるのに有効な・・・が多く含まれているからである・・・(説明)・・・。</li> <li>ゆえに牛乳には背を伸ばす効果が大きいと言える。</li> <li>・しかし背が伸びるのには・・・も重要な要素であり、牛乳は背を伸ばすには有効であるが、・・・も必要と言える。</li> </ul>

# 1. 論文を相互評価しよう

STEP1 グループの人の論文を順番に読みながら、以下のことを読み取り相互評価してください。  
 ※参考になること（文章、論理の運び、根拠、結論の書き方、内容）を1つ書きましょう。

テーマ	名前 ( )	
結論		
参考になること		
評価	項目：項目（はじめに→根拠→考察・結論）はあるか？	( A B C )
	根拠：根拠は客観的なデータを調べているか？	( A B C )
	論理：結論はテーマの答えになっているか？	( A B C )

※Aは十分満たしている Bは一応満たしている、Cは不足 で評価する

テーマ	名前 ( )	
結論		
参考になること		
評価	項目：項目（はじめに→根拠→考察・結論）はあるか？	( A B C )
	根拠：根拠は客観的なデータを調べているか？	( A B C )
	論理：結論はテーマの答えになっているか？	( A B C )

テーマ	名前 ( )	
結論		
参考になること		
評価	項目：項目（はじめに→根拠→考察・結論）はあるか？	( A B C )
	根拠：根拠は客観的なデータを調べているか？	( A B C )
	論理：結論はテーマの答えになっているか？	( A B C )

テーマ	名前 ( )	
結論		
参考になること		
評価	項目：項目（はじめに→根拠→考察・結論）はあるか？	( A B C )
	根拠：根拠は客観的なデータを調べているか？	( A B C )
	論理：結論はテーマの答えになっているか？	( A B C )

テーマ	名前 ( )	
結論		
参考になること		
評価	項目：項目（はじめに→根拠→考察・結論）はあるか？	( A B C )
	根拠：根拠は客観的なデータを調べているか？	( A B C )
	論理：結論はテーマの答えになっているか？	( A B C )

テーマ	名前 ( )	
結論		
参考になること		
評価	項目：項目（はじめに→根拠→考察→結論）はあるか？	( A B C )
	根拠：根拠は客観的なデータを調べているか？	( A B C )
	論理：結論はテーマの答えになっているか？	( A B C )

## 2. 自分の提出した論文を振り返ろう

STEP1 相互評価した後、同じ観点で自分の論文をチェックしよう。

テーマ	名前 ( )	
結論		
評価	項目：項目（はじめに→根拠→考察・結論）はあるか？	( A B C )
	根拠：根拠は客観的なデータを調べているか？	( A B C )
	論理：結論はテーマの答えになっているか？	( A B C )

STEP2 他の人の論文からの学んだこと（2つ）と、自分の論文の改善点を書きだそう。（2つ）

学んだこと （参考なることと重なってもよい）	
自分の論文の改善点	